

## 第 1 回宇治市観光振興計画策定専門委員会からの意見・提案

## 情報発信

- ・ 宇治を知らない人が多く、情報発信の方策が来宇客を増加させるキーポイントになる。
- ・ 宇治へのアクセス認知度が低い。
- ・ 京都・大阪・神戸などの街中でのPR展開など広報宣伝方法の見直しが必要。
- ・ 旅行者の事前情報収集方法はインターネットとガイドブックはほぼ同数であり、インターネット情報をもっと活性化すべき。
- ・ 京都駅の観光案内所をもっと積極的に活用すべき。

## 交通・駐車場問題

- ・ 旅行担当者や観光客からのクレームで多いのは駐車場不足と交通渋滞によるバス遅延等である。
- ・ パーク＆ライドは実現性が高いと思われる。

## 市内回遊・滞留時間

- ・ レンタサイクルを実施することで、市内回遊性が生まれるのではないか。
- ・ 回遊性を高めるために駐車場の位置やあり方を検討すべき。
- ・ 市内の飲食店を主目的に訪れる方もある。この辺りに街全体の魅力向上のヒントがあるのではないか。
- ・ スポーツツーリズムなどに目を向け滞在時間の延長を図るべき。
- ・ 街全体での魅力向上が必要。

## ホスピタリティ・アメニティ

- ・ トイレなどアメニティ関係の課題が多い。最近の観光地には快適性も求められている。
- ・ 外国人来訪客に対してのおもてなし向上のための講習会などを実施したい。

## イメージ展開

- ・ 単発ではなく長期間にわたってPRできるイベントを展開すべき。
- ・ 通年観光客でにぎわうような施策を検討すべき。
- ・ 冬の宇治、夜の宇治のイメージが無い。1年、1日を過ごす提案・戦略が必要。
- ・ 宇治のキャッチフレーズを時代とともに変えていく必要がある。
- ・ 近年の来宇者はJR利用者が増えておりJR宇治駅から宇治橋通り商店街のイメージが非常に

大切。

## 市民参画

- ・ 市民が観光客に対して歓迎の意識をあまり持っていないように感じるため、市民啓発の取り組みが必要。
- ・ 観光に携わっていない住民参加による、市民にとって当たり前を見直して一覧化、地域資源の再発掘を行い、他観光地域との差別化をすべきでは。

専門委員会の意見を集約すると、大きく分けて上記の6点が課題として挙げられた。

